



令和4年度
一般職・先輩職員からのメッセージ

宮内庁



Career

平成 3年 採用Ⅲ種（行政事務）
侍従職庶務第一係
平成 5年 侍従職内廷第一係（内舎人）
平成10年 長官官房秘書課職員係
平成11年 長官官房秘書課総務係
平成14年 長官官房用度課用度第二係
平成15年 長官官房用度課経理係
平成17年 長官官房主計課支出負担行為係主任
平成20年 長官官房主計課監査係長
平成22年 侍従職監理係長
平成25年 侍従職内記係長
平成28年 長官官房秘書課任用係長
平成30年 長官官房秘書課人事専門官
令和 3年 現職

長官官房秘書課長補佐 栗原 勝

Masaru Kurihara

宮内庁における業務の魅力

宮内庁の業務の魅力は、業務の多様性です。我々の業務は皇室のお世話ということになりますが、天皇皇后両陛下・皇族方は、宮中における儀式や行事、国内外へのお出まし等、幅広いご活動をなさっています。行事の準備や行幸啓（お出まし）の準備等の宮内庁にしかない業務もあれば、皇室用財産の管理や予算管理等の公務員らしい業務もあり、入庁後は多様な業務に携わることとなります。書陵部、大膳課、車馬課等に在籍する専門的な人材と共に業務にあたるという点も魅力の一つとなります。

やりがいや達成感を感じる瞬間

侍従職に配属時に行幸啓や行事に携わる機会がありました。そうした場面で国民の皆様のお迎えする笑顔であったり、感動されている姿を拝見し、自身の業務がその役に立っているという達成感を強く感じました。また、現在は職員を採用する業務に携わっておりますが、自らも面接し、宮内庁の未来を背負う人材と判断して採用した職員が、様々な部署で活躍している姿を見ることも、嬉しく感じる瞬間でもあります。

これまでの業務で印象に残っていること

印象に残っている業務は、平成27年に戦後70年にあたり天皇皇后両陛下（現在の上皇上皇后両陛下）がパラオ国をご訪問なさった折に、随行したことです。両陛下は海上保安庁の巡視船にお泊りになるなど、通常の行幸啓では考えられないような状況が数多くあり、検討事項も多岐にわたりました。苦労も多かった随行ではありましたが、サンゴ礁がきれいな島々の中、戦争の爪痕も未だ残るこの地で亡くなられた方々を現地でご慰霊なさる両陛下のお姿を近くで拝見し、現地でご慰霊されることの意味を深く感じました。

仕事をする上で心がけていること

宮内庁の仕事は、皇室をお支えすることです。皇室と国民の間において、常に皇室のご活動が滞りなく進められるよう行動する必要があります。その際、その時々々の社会の動き・人々の心を強く意識しつつ、歴史や伝統も尊重しながら、何が最善かを常に考えて行動するようにしています。また、私達宮内庁の職員がとる行動は、それを間違えると、皇室の方々に対する国民の印象にも影響することとなります。よって、常にそのような意識を持って行動するように心がけています。



Message

宮内庁と申しますと、少し固いイメージがあるかもしれませんが、伝統的な儀式・行事等をしっかりと行うことはもちろん重要ですが、その時々々の事情により様々な対応ができるような能力も必要と考えています。よって、新鮮な発想や、細かな配慮、積極的に取り組む姿勢を持ったバランスの良い人材を求めています。現在はコロナ禍により、大規模な行事や地方行幸啓、外国御訪問も行われていない状況ではありますが、様々な工夫により対処して実施しているものもあります。今後も新しい社会の動きの中で、新しい発想での皇室と国民の架け橋となるように務めていきます。このような時こそ宮内庁で働いてみませんか。



Career

平成19年 採用Ⅱ種(建築)
管理部工務課建築第三係
平成22年 管理部工務課建築第二係
育児休業取得
平成25年 管理部工務課建築保安全管理係
平成26年 育児休業取得
平成28年 管理部工務課建築第一係
令和 2年 現職

管理部工務課建築第三係長 柴田 彩子

Ayako Shibata

宮内庁における業務の魅力

宮内庁の施設には、新年祝賀の儀や歌会始などを行う宮殿、天皇后両陛下がお住まいの御所、御用邸、御料牧場、事務庁舎、江戸城の門櫓石垣、関西では京都御所、桂離宮などがあります。宮内庁が所掌する多種多彩な業務に応じた用途、種類、歴史的背景があり、伝統的木造建築から近代建築まで様々な施設に関わることができます。業務を通して、先人達が施設を長く大切に保全するために努力してきた工夫や苦勞、建築への熱い思いを垣間見ることができ、その奥深さに魅力が尽きることはなく、ずっと関わり続けていきたいと思う職場です。

やりがいや達成感を感じる瞬間

工務課の主な業務のひとつに建物の新築や改修、不具合修繕のための「設計」があります。建物は一品生産であり、求められる意匠や付帯設備、工事予算などはそれぞれ異なります。また、一旦完成すれば長く利用するものなので、設計方針を決めることは責任が重く悩むどころではありませんが、与条件の中で最善策を考えることは、建築に携わる者が味わえる醍醐味でもあります。工事中は監督職員として設計図書どおりに施工されているか確認をします。多くの検討を重ねた工事が無事に完了した時には、大きな安堵と達成感を感じます。



仕事をする上で心がけていること

一つ目は、上司や業務に関係する人への報告・連絡・相談を速やかに行うこと。二つ目は、年度当初に年間スケジュールを立てて、業務が集中しそうな時期を事前に把握し、準備・対応すること。三つ目は、突発的な業務が生じた時でも、自身が担当する業務全体を円滑に進めることです。それでも上手くいかないことが続く時もありますが、明日はきっと良い日が来ると、ポジティブな気持ちでいることを忘れないようにしています。

育児と仕事の両立のための工夫

現在小学生になる2人の子がおり、それぞれ約2年間の育児休業を取得しました。育児によって仕事にかけられる時間は減りましたが、両立のために、限られた時間の中で業務を最大限効率的に行うことを意識しています。ただ、家族の協力も不可欠で、育児も家事も夫婦で分担したり、仕事が忙しい時は夫と交代で残業したり、子どもが体調不良の時は両親に頼んで面倒を見てもらうことで、今日まで続けることができました。庁内には子育て中の職員が多くいるため情報交換できることや、男女問わず上司が子育てに理解が深いことも、両立につながっています。

Message

宮内庁がどんなところか、工務課がどんな仕事をしているか、ご存じない方もいると思います。このメッセージをお読みいただき、少しでも身近に感じ、興味を持っていただけたら幸いです。工務課には建築、電気、機械、水道、土木、設備保全係があり、施設が安全快適に使用できるようにそれぞれが技術職として業務に当たっています。若手や女性も多く、活気があり風通しのよい環境です。私たちと一緒に技術職として働いてみませんか。

Career

平成22年 採用Ⅱ種(行政)
長官官房秘書課調査企画室法規係
平成24年 長官官房主計課予算決算第一係
平成26年 侍従職内廷係(内舎人)
平成30年 侍従職内廷係長(内舎人)
令和元年 上皇職内廷係長(上皇内舎人)
令和2年 外務省大臣官房儀典官室
令和4年 現職



長官官房主計課予算決算第一係長

黒澤 祐毅

Yuki Kurosawa

宮内庁を志望した理由

私にとっての理想の職場、それが宮内庁でした。私は、進学先を京都に選ぶほどの歴史好きで、学生時代は学業の傍ら寺社巡りとアルバイトの日々を過ごしていました。アルバイトは、結婚式場のスタッフというお客様への気配りが欠かせない仕事でしたが、お客様の笑顔にやりがいを感じていました。就職活動の時期になり、好奇心から宮内庁の採用パンフレットを取り寄せてみたところ「宮内庁は、人々の心に対する洞察力と感受性、日本の歴史・伝統への強い関心をもった人物を求めている」というフレーズに目が留まりました。まさに自分にぴったりだと、雷に打たれたような衝撃を受け、気が付いたときには宮内庁へ履歴書を送付していました。

これまでの業務で印象に残っていること

入庁後しばらくは、秘書課で法令を、その後は主計課で予算を扱い、デスクワーク中心の生活を送っていました。ところがその数年後、令和のお代替わりに伴い、上皇職に配属され、上皇上皇后両陛下のお引越に関する業務に携わることになりました。数年前までは背広に革靴姿で仕事をしていた私が、まさか作業着に運動靴という格好で皇居の中を走り回る日が来るとは想像もしていませんでした。額に汗をかきながら同僚と段ボールを何箱も運んだことが今では良い思い出です。



出向の経験を通して

私は、令和2年度から2年間、外務省に出向させていただきました。出向前までは、宮内庁だけが私の世界であり、宮内庁のことしか知りませんでした。外務省への出向後、始めは職員の多さと建物の規模に圧倒されていましたが、先進的な業務効率化の取組、外国語を駆使して外国の方と堂々と渡り合う職員の姿、そして私のような出向者に対しても非常に寛容な方々を目の当たりにし、新たな世界を発見した思いでした。

外務省で得た知識や経験は、今後の宮内庁での仕事に存分に活かしていきたいと思っています。

仕事をする上で心がけていること

宮内庁の主な仕事は、皇室の御活動をお支えることですが、我々の仕事の先には国民がいるということを常に考えながら仕事をするよう心掛けています。侍従職在籍時代、両陛下(現在のの上皇上皇后両陛下)のお供で地方へ出張する機会がありました。両陛下がお通りになる沿道には多くの人々が詰めかけ、両陛下がご通過された後もしばらくその場に残って感動の余韻に浸っている方々を何度も拝見しました。このような光景を見られるのは、日々皇室が国民を思い、寄り添われてきた結果だと考えています。

だからこそ私も、国民の皆様と接する場面では、皇室の方々と接するのと同じようにまごころをこめて接することを心掛けています。

Message

子どもの頃、ウルトラマンになるのが夢でした。子どもの頃の夢は叶いませんでしたが、今は宮内庁の職員として働いています。怪獣と戦うよりも魅力的な仕事が宮内庁にはあります。語りつくせないほどの経験、多種多様な仕事、個性豊かな仲間たち、歴史に囲まれた職場。きっと子どもの頃の私が今の自分を見たときに、ウルトラマンじゃないけれどいい仕事に就いたなと思ってくれると信じています。



Career

平成24年 採用Ⅲ種（行政事務）
管理部庶務係
平成26年 式部職庶務第一係
平成28年 東宮職監理係
令和元年 侍従職監理係
令和2年 侍従職庶務第二係
令和4年 現職

長官官房総務課幸啓係

村山 詩歩

Shiho Murayama

宮内庁を志望した理由

平成23年に発生した東日本大震災の際、天皇皇后両陛下（現在の
上皇上帝后両陛下）が被災地御訪問で、地元の避難所を御見舞いにな
られたことがありました。当時生活するのも大変な状況下の中、両陛下のお
姿を見て笑顔になる地元の人々を見て、どんなに大変な時も人々に寄り添
い励まいただく皇室の存在を感じました。その年に、公務員試験を受験す
るにあたり、両陛下や皇族方をお支えする宮内庁が、どんな職場なんだろう
と官庁訪問で訪れ、東京の中心にありながら緑豊かで歴史ある職場、優し
い先輩職員の皆様とお話し、ここで働きたいと思いました。

宮内庁における業務の魅力

部局によって、多様な業務があることだと思
います。事務官としてのデスクワークはもちろん
ですが、時に管理課では自然観察会や
参観業務という国民の皆様と直接お話し、
皇室のことや宮内庁について知っていただく
ための業務をさせていただき、式部職では鶺鴒
飼や鴨場、雅楽等の歴史ある日本の伝統
文化を紹介したり、侍従職では侍従や女官
といった天皇皇后両陛下をお側でお支えす
る職員のサポートをさせていただきながら、自分自身も両陛下の存在を
身近に感じる事が出来ました。一つ一つの部局のお仕事も、皇室のため、
国民の皆様のために責任ある大切な仕事をしており、その仕事に少
しても関わられることを誇りに思います。



これまでの業務で印象に残っていること

令和元年に侍従職監理係として、
天皇陛下の御即位に伴う皇居内で行
われる諸行事の資料を取りまとめ、準
備する担当をいたしました。毎日続く行
事の莫大な資料を準備しながら、一つ
一つの行事を大切に御準備されて行
われる天皇皇后両陛下のお姿をお側
で感じることができ、当時はとても大変で
したが、一生の思い出になりました。

また天皇皇后両陛下（当時、皇太子
同妃両殿下）の地方御訪問に御一緒
させていただいた際に、国民の皆様が
沿道や御訪問先で、両陛下（両殿下）の
ことを今か今かとお待ちになり、
お姿を見て笑顔になる人々の光景を見て、
とても嬉しくなりました。



仕事をする上で心がけていること

自分の仕事一つが、天皇皇后両陛下はじめ皇室の皆さまへ繋がってい
ることを常に考えております。現在の仕事は、主に天皇皇后両陛下の行幸
啓に関する業務ですが、お出ましの関係先と連絡する際も、自分の言動が
皇室の印象を左右することを意識し、よく考えて仕事をするようにしています。

また、歴史や伝統を大切にする職場ですので、日々勉強の毎日です。
そのため、上司や同僚たちとよく相談をしながら仕事をしており、
コミュニケーションをよく取れるように普段から心がけております。

Message

宮内庁は多種多様な仕事があり、他の職場ではできない貴重な体験を沢山経験することができます。また、職員皆が仲良く、和気あいあいとした雰囲気の中で仕事ができ、上司や先輩職員に成長を見守られながら、家族のような穏やかな雰囲気の中で働いており、今の係でも笑いが絶えない毎日楽しく仕事をしています。緑豊かで、歴史を感じながら働くことが出来る素敵な職場ですので、ぜひ官庁訪問だけでもいらしてください。